

# 市民文化局 民間活用事業者選定評価委員会 シンフォニーホール部会 会議録

日 時	令和 7 年 8 月 13 日 (水) 15 時 30 分～17 時 00 分	場 所	市民文化局会議室
出席者	委 員 新井委員 大江委員 垣内委員 児玉委員 本杉委員 (五十音順)		
事務局	事務局 市民文化局 企画課担当係長、企画課担当職員 市民文化振興室長、市民文化振興室担当課長、市民文化振興室課長補佐		
傍聴者	なし		
議 題	(1) 川崎シンフォニーホールの令和 6 年度指定管理に関する年度評価 (2) その他		
事務局	<p>&lt;以下について確認。&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の紹介</li> <li>・委員 5 名中 5 名出席 (うち 3 名はオンライン会議システムによる出席) により会議の成立を確認</li> <li>・配布資料の確認</li> <li>・事務局、施設所管課の紹介</li> <li>・委員及びその家族が指定管理者と利害関係がないことを確認</li> <li>・互選により部会長は垣内委員に決定</li> </ul> <p>&lt;会議の公開・非公開、会議録の作成方法、会議録の確認者について協議。&gt;</p> <p>会議の公開・非公開について、議題「(1) 川崎シンフォニーホールの令和 6 年度指定管理の年度評価」については、「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例」に定める会議公開の原則に基づき、公開とすることとした。(一同了承)</p> <p>会議録について、「要約方式」により、委員全員により確認することとした。(一同了承)</p> <p>なお、会議録の作成に当たっては、発言者が分かるよう委員名を記載することになっており、公文書開示請求等があった場合には、委員名は原則開示されることを確認。</p> <p><b>議題 (1) 川崎シンフォニーホールの令和 6 年度指定管理の年度評価</b></p>		
事務局	<年度評価シートの評価段階について説明。>		
市民文化振興室 課長補佐 (以下、課長補佐)	資料 1 「令和 6 年度年度評価シート」をもとに所管課としての評価を説明。		
部会長	「1 基本事項」「2 業務実績」について、御意見、質問等があれば伺いたい。		
本杉委員	主催公演の入場者数が増えたことに何か背景はあるのか。		

# 市民文化局 民間活用事業者選定評価委員会 シンフォニーホール部会 会議録

課長補佐	定期的な公演の数が増えたのではなく、それに付随する小規模なコンサートを実施することができたため、結果的に公演数が増えたものである。
本杉委員	主催公演数が1公演しか増えていないが、入場者数が1割以上アップしている。この8,000人アップの理由は何か。
課長補佐	海外オーケストラや人気のあるオペラなどは例年満席になるので特段増えることはないが、ランチタイムコンサートや名曲全集など、比較的席に余裕のあった公演に多くのおお客様がご来場いただいて席が埋まるという状況が昨年から続いている。
部会長	以前に比べ入場者の少ない公演が減っていると思うが、ランチタイムコンサートでも入場者率が低かった公演もなくなりつつあり、全体的に底上げされたと理解してよいか。
課長補佐	そのとおりです。  <一同了承>
部会長	「3 評価」の「利用者満足度」は昨年同様いずれも評価が4となっている。「ばらの騎士」の受賞を評価理由としているが、ご質問、コメントがあれば伺いたい。
児玉委員	100%近い満足度を確保していて評価4だとしたら、評価5は何になるのか。95%の満足度をより上げるのは数字的にできない。普通なら評価5でよいはず。主催者アンケートなので数値は当然いいほうに行く。その数値を根拠にするのであれば評価5でいいはずだが、事務局としての判断は。
課長補佐	評価の考え方として、前年度と同等の高い水準で達成していれば同じ評価としている。相対的な部分もあり、当初から9割の満足度を得ていたため評価4で推移してきた。詳細な回答としては「非常に良い」だけでは8割程度だが、「良い」と併せて90%以上ということもあり、評価を4とさせていただいた。
児玉委員	年度の推移でなく、絶対評価をするべきではないか。主催者のアンケートだけで採点するには無理があるとも考える。今回の評価については異存ないが、今後検討してほしい。
課長補佐	承知した。
部会長	指定管理者とよく相談しアンケート調査の在り方を御検討ください。評価委員会の意見も指定管理者にお伝えください。以上を踏まえ事務局案承認でよろしいか。  <一同了承>

# 市民文化局 民間活用事業者選定評価委員会

## シンフォニーホール部会 会議録

<b>部会長</b>	「収支計画・実績」は昨年と異なり収支がプラスということで全てが評価4になっている。財務が専門の新井委員からのコメントを頂戴した後、審議したい。
<b>新井委員</b>	今回は、収支計算書の決算で評価をしているが、資料3の事業報告書の収支計算書における事業活動の収支差額はマイナスとなっている。投資活動収支差額がプラスになっており、投資活動も合わせればプラスということだが、正味財産増減計算書を見ると営業収益が下がっている。当期経常増減額は、前期より損益が悪くなっている。収支の状況をベースにするのであれば損益の話はクローズアップさせなくてよいが、損益で見るのが一般的である。事業活動としては2期連続マイナスだが積立てを取り崩してプラスになったので評価4とする所管課の考えは、「計画に基づく適正な支出」の評価項目の観点からは、資料2の収支状況と合っていないものの、今年の議論で、所管から評価2が提案されたところを評価3に修正した経緯も踏まえると、「支出に見合う効果が得られている」の評価項目を重視して評価4とした、と説明すれば問題ないと思う。
<b>部会長</b>	投資的な収入は、具体的にはどういうことか。計画どおりと理解してよいのか。
<b>課長補佐</b>	20周年事業のために、15周年事業の終了後から毎年900万円ずつ5年間積み立てたもので、計画どおりの投資的な取り崩しである。
<b>部会長</b>	では、事業活動でみると昨年同様の結構な額の赤字になったが、周年事業を想定して積立をしてきたものを充当した。それにより投資活動を含めた当期収益差額では黒字となったので評価4としたという理解でよろしいか。
<b>課長補佐</b>	そのとおりです。
<b>部会長</b>	収支の話だけでなく、受賞したオペラなど多くの入場者があったことなども踏まえて追記する方法もあると思う。
<b>児玉委員</b>	積立制度をとっている限りは毎回起こることなのでありだと思うが、問題は約3,000万円以上の赤字が続くこと。今後のコスト高騰は明らかなので、それに見合った対策が必要である。価値を上げる、全く別の収入源を考える、公演数を減らして赤字を減らすは質は高めるなど、考えなくてはいけないタイミングだと思う。今回の評価は説明できるが、来年はまた評価が下がらないかが心配である。
<b>部会長</b>	令和6年度の評価としては事務局案に説明を追加していただくということで、事務局案承認でよろしいか。
<b>新井委員</b>	損益では赤字は続いているので注意は必要である。評価4ということを気にする方もいるかもしれないが、今回の議論では収支を評価したという説明であれば、そこまで不自然な評価にはなっていないと思う。

# 市民文化局 民間活用事業者選定評価委員会 シンフォニーホール部会 会議録

部会長	最後の指導事項の部分強調するよう修正し、今年度も気を付けて見ていただきたい。令和6年度評価については事務局案でよいか。
新井委員	指定管理者は損益的な赤字が続いていることをどのように認識しているのか。
課長補佐	昨年度から大きな問題として認識しており、指定管理者とは1年以上議論を続けている。今年度はチケット料金の一部値上げを実施していただいた。事業については、事業数は減らさずに事業内容を見直す対応などの協議をしているが、2、3年先の公演をブッキングするため、令和7、8年度と少しずつ効果を出していけるのではないかと考えている。
新井委員	事業自体は成長して見える中で、赤字をどのように改善できるのかという根本的な話になる。指導するのは難しいと思うが、指定管理者にもぜひ協力してもらいたい。
部会長	では、今回は事務局の提案どおりということでよいか。  <一同了承>
部会長	「サービス向上及び業務改善」について、コメント、意見等を伺いたい。 ホスピタリティシートは効果があったのか。上手くいきそうであれば次につなげることもあり得ると考える。
課長補佐	ホスピタリティシートについて、座席はある程度ご用意していたが、購入は6席となった。初めての取組で6席買っていただいたことについては評価できる。非常に良い取組であるため、所管課としては、これを皮切りに内容を工夫して販路を増やしてもらいたいと考えている。
部会長	いろいろなパッケージがあるうちの、どこが良くて購入してもらえたのか。
課長補佐	写真撮影やオリジナルグッズなど、通常購入できない商品などが一定層のお客さまに受け入れられたのではと考えている。お金で買えない価値を商品化する方針で継続していただきたいと考えている。
児玉委員	公立のホールでこのようなことをやっているところはほとんどない。思い切ってこうした取組に踏み出せる点が川崎市の良さであると考えている。ぜひ形を作って、日本の他のホールの模範になるようなものになっていけるとよい。まさに「推し活」であり、上手く刺激するためには、やはり「人」が重要となる。どんな「人」がいて、どんな「人」と写真撮影や話ができるのか、というところに価値を見出している人が増えているので、「推し活」を参考に継続して形を作っていくと面白いと考える。
部会長	ランチタイムコンサートの当日券をスタッフが座席割り振りするというのは、お客さまからクレームは来なかったということでよいか。

**市民文化局 民間活用事業者選定評価委員会  
シンフォニーホール部会 会議録**

課長補佐	はい。
部会長	他に問題なければ、事務局提案どおりでよろしいか。  ＜一同了承＞
部会長	「組織管理体制」について、「安全・安心の取組」で評価4がつくことはあまり見ないが、ミュージアはいろいろ取り組んでいるので評価4としたと思うが、意見はないか。
本杉委員	施設内で病人が発生して救急車を呼んだとあるが、どのような状況だったのか。
課長補佐	転倒した事例で、令和6年度は2件あった。1件目は終演後にらせん階段で転倒し救急搬送されたケースで、2件目は開演前に歓喜の広場のフラットな場所で転倒し救急搬送されたケースであった。ホールの客席も非常に段差が多いので密集時に転倒されるケースも多い。
部会長	大きな怪我をされたというより、念のため救急車を呼んだということで、施設設備の不備とまではいかないということか。
本杉委員	施設の問題だとしたらこれから考えないといけないと思うが、説明を伺った限りでは、本人の不注意というところが大きいと思う。
部会長	専門家の本杉委員のお知恵を拝借してバリアフリーを進めていただいたほうがよいと思う。避難誘導訓練は英語で、外国の人も含めて実施しているのか。
課長補佐	これは日本語のみとなる。
部会長	外国の方がいる中で災害が起きたときは、英語のアナウンスはされるのか。
課長補佐	はい。
部会長	担当者のスキルアップ、人員配置、その他再委託管理も評価4で、仕様書を上回る効果が上がっているという評価だがよろしいか。  ＜一同了承＞
部会長	「適正な業務実施」について、ご意見やコメントはあるか。 特定天井は震災の復旧工事で修復したため対応済みということか。
課長補佐	そのとおり。

# 市民文化局 民間活用事業者選定評価委員会 シンフォニーホール部会 会議録

部会長	当面は小規模な小破修繕で対応していくのか。大規模改修の計画はあるのか。
課長補佐	改修計画について内部で検討している状況である。指定管理者に協力していただき、現場の意見や施設の課題をヒアリングさせていただいている。
部会長	大規模改修も計画的に進めていただきたい。 では、「3 評価」は基本的に事務局案どおりとするが、「効率的・効果的な支出」については、計画的な投資活動があり、それによって 20 周年事業が効果的に行われたことを追記していただきたい。
部会長	「4 その他加点」について質問、コメントはあるか。  <なし>
部会長	「5 総合評価」について、20 周年事業が効果的に行われたことから「A」になっているが、よろしいか。  <一同了承>
部会長	「6 事業執行に対する全体的な評価」「7 来年度の事業執行に対する指導事項等」を併せてみていきたいが、何か質問、コメントはあるか。 7⑦に、「効率的な管理運営に向けて収支状況を改善」とあるが、改善は結構厳しいのではないか。改善まで要求するのか。
新井委員	収支についてはプラス、損益についてはマイナスとなっている。収支をメインに考えると、改善はされているが、「収支状況を改善」という表現に違和感を覚える。
部会長	「収支状況を改善」というと、支出を抑えて収入を増やす話にとどまってしまうが、趣旨としては「財務状況を勘案しながら持続可能な運営につなげる必要がある」ということだと考える。
新井委員	確かに「財務状況を改善する」という表現のほうが適切であると考えます。
部会長	事務局的には収支の改善が必要という考えだったのか。
課長補佐	新井委員のおっしゃる通り、財務全体の改善という趣旨であるため、そのように修正する。
部会長	財務状況の悪化が続くと持続可能な運営ができなくなるので気を付けていただきたい。 他に意見はあるか。

# 市民文化局 民間活用事業者選定評価委員会 シンフォニーホール部会 会議録

児玉委員	<p>今年は 10 年の指定期間の折り返しの年なので、来年度の事業執行に対するコメントは、折り返しということ意識して書いたほうがよい。時代の流れは速くなっており、昔の 10 年で起きていたことが 5 年で起きている。5 年の段階で考え方の確認なり見直しが必要である。市が指導するのではなく、指定管理者の中で話し合いをして、次の 5 年に向かっての大きな方向性を立ち上げてほしい。適切に運営していても 5 年も経つと停滞する。職員の意識を変えないと 10 年経った時点で陳腐化している可能性がある。</p>
部会長	<p>激変する環境のなか、10 年の中間点で総括するのは重要なポイントだと思う反面、指定管理者制度としては、市が仕様書を示して一定期間の運営を依頼するもののため、手法は指定管理者の知恵と工夫に任せ、市は成果を確認する立場である。プロセスまで入っていくことは難しい。所管課の評価が適切かを確認する資料のため、指導事項として指定管理者の意思決定プロセスや組織運営体制に入り込むことは難しいが、児玉委員がおっしゃった事例を含め、事務局から指定管理者に伝えることで、より実効性が上がるのではないかと。</p>
課長補佐	<p>おっしゃるとおり、残りの 5 年間どうやって創意工夫して効率的、効果的な事業を実施していくかが重要な課題であると考えているので、事務局から委員の方のご意見を指定管理者に直接伝えたい。</p>
部会長	<p>では「7 指導事項」は、前述の⑦以外は事務局案でよいか。</p> <p>&lt;一同承認&gt;</p>
部会長	<p>事務局から指定管理者に本日の委員の意見を伝えていただく。 資料 1 の 2 ページの評価の理由、6 ページの指導事項を修正する。書きぶりについては事務局に一任する。 以上を踏まえ、評価を了承してよいか。</p> <p>&lt;一同了承&gt;</p>
部会長	<p>&lt;予定されている議事を終了&gt; 市民文化局民間活用事業者選定評価委員会シンフォニーホール部会を閉会する。</p>
担当課長	<p>&lt;以下の事務連絡等を実施&gt; 会議録を委員の皆様にご確認いただき、加除訂正の上、返送いただく。 評価シートについては、指定管理者に通知し、市ホームページで公表する。</p>